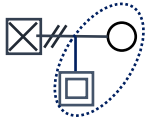


相談支援体制強化のための事例

場面：高齢の母と障がいをもつ子どもの二人暮らしにおいて

家族状況



高齢の母と障がいをもつ子ども二人暮らし。

父は既に10年前に他界。母には頼る親戚はおらず、支援関係者からは、将来を見据え、子どもと離れて暮らすことを何度も提案されていたが、母は、子どもと一緒に最後まで生活したいという意向であった。

本人状況

年齢	50代	性別	男性	障がい種別	知的（3度）	障がい支援区分	3
利用中の福祉サービス	生活介護、移動支援（休日利用）、計画相談支援						
障がい特性	大人しく、発語がほとんどない。生活全般に見守り、一部介助。慣れていない場所では、不安定になりやすい。						

介護者状況

年齢	90代	続柄	母	介護保険	要支援1
状況	長年母一人で、本人の介護を担っていた。子どもと離れて暮らす意向はなかった。				

相談支援内容：緊急時対応

月曜日に生活介護の送迎バスで迎えに行ったところ、本人と母がバス POINT に現れなかったため、生活介護職員が自宅に連絡。連絡がとれなかったため、生活介護職員2名で自宅訪問。鍵は空いており、自室に倒れた母と本人が居ることを発見した。

母は、そのまま119番で緊急搬送。本人は生活介護に通所し、そのまま施設において保護。支援関係者に連絡。相談支援専門員、所管福祉事務所等において、母が戻るまでの期間、本人が過ごす場所として、短期入所等の受入れ先を探した。

過去に利用した短期入所施設は空きがなく、一泊が限度であったため、他の受入れ先を探した。その後、初めての受入れ先ではあったが、改めて作成したアセスメント票をもとに、区内の短期入所を5日間、確保した。短期入所利用中に、母が搬送先の病院で脳幹出血による意識不明の重体で長期入院の見込みという報告を受けたため、緊急連絡先となっていた遠方の親戚同意の元、所管福祉事務所、相談支援専門員で受け入れが可能なグループホーム、施設入所支援先を探した。その間、相談支援専門員の方で、本人にこれからの生活の意向を確認するが「お母さんどこ？」等の発言はあるものの、それ以上のことは聞き取ることができなかった。

福祉事務所の方で、区外の日中支援型グループホームで受け入れが可能との回答を受け、入所する運びとなった。本人は、環境が急に変わったことで、普段起こり得ない行動（寄声を発する、徘徊等）が頻回にみられ、非常に精神的に不安定な状態であったため、計画相談専門員はすぐには新しい計画相談支援には引き継がず、生活が安定するまで継続対応することとした。

活用した社会資源	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護通所事業所 ・相談支援事業所 相談支援専門員 ・短期入所施設 ・日中支援型グループホーム ・行政 所管福祉事務所 障がい者支援係
----------	---

計画相談支援専門員からみた振り返り

よかった点

- ・緊急時において、月曜日の平日、日中の相談であったため、行政や支援関係者に連絡がつき、相談支援事業所でも組織で迅速に対応することができた。
- ・利用したことがない短期入所施設には、改めて本人のアセスメントを行い、先方に詳しく伝えることで、受け入れに繋げることができた。
- ・入所先が区外であったため、計画相談支援を継続で対応できかねる地域ではあるが、今後受入れ先が変更になる可能性も視野に入れて、新しいサービス等利用計画案提出後もしばらくは、支援を継続することとした。

よくなかった点

- ・日頃より、支援関係者で“母が何かあった時にどうするのか”という話はでていたが、母が介入に拒否的であったため、具体的な話までは事前に本人、母と話をしておくことができなかった。
- ・区内の短期入所施設にすぐに繋がれることができてよかったが、期間が5日間だけでは短かった。また、いつもと本人が違う精神状況であったため、受け入れ先との連絡調整に苦労し、本人状態の確認に時間を要した。
- ・区外のグループホームや施設入所支援施設の情報がなかったため、相談支援専門員が探すことに限界があった。

★★事例についての留意事項★★

- ・事例は、福祉事務所や相談支援事業所で相談があった実際のいくつかの事例を元に、改めて作成しています。※本人、介護者情報など、特定の個人情報に関わるものについては、あくまでも相談支援部会用です。
- ・『相談支援体制』に重点をおいた事例としています。

《事例検討フォーマット》

○この事例の課題＝相談支援の視点から、グループワークで検討したい内容

- 例：・緊急時に備えて、母、本人と話合える機会はなかったか。
- ・平日の緊急時対応であったため、行政と連携し短期入所を探すことができたが、休日は短期入所に空きがないことが多い。その場合、どのような対応が考えられるか。
 - ・区外の福祉サービスを利用することになった時、相談支援事業所の引き継ぐタイミングはどうしているか。
- …など。

○各部会員からの意見

○今後の課題（施策部分で伝えたいこと、足りない社会資源、地域の体制づくりで必要なことなど）